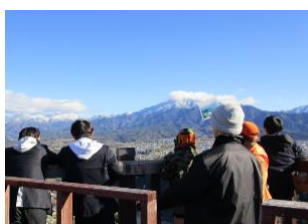


地域探究類型、馬籠宿・苗木城跡へ巡検に出かけました！

【令和7年12月4日】



12月4日(木)、地域探究類型の3年生及び2年生が、宿場町としての観光産業のありかたと、歴史的遺産の保全活動を学ぶことを目的として、中津川市にある馬籠宿、苗木城跡・苗木遠山史料館を訪れました。馬籠宿では町並みや観光客の様子、特産品を販売する店舗を見て回りました。

到着した時は雪が降っていましたが、次第に天気も良くなり、展望台から、宿場町の様子、雪をかぶった恵那山を眺めることができました。苗木ではボランティアガイドさんの説明を聞きながら、苗木城跡と、遠山苗木史料館を見学しました。地域の町づくりを考える貴重な機会になりました。以下、生徒の感想です。



- ・外国人観光客が思った以上にいた。バスで来ている人も、歩いている人もいた。
- ・犬山のような新しい店は少ないが、古い町並みが残っているのが魅力的だった。
- ・馬籠の栗きんとんなど、特産物や名産品があることが観光地にとって大切。
- ・(苗木城の)ボランティアガイドさんの話から、当時のお城の様子が想像できた。
- ・雲海予報が出していけるようにデータを集めているという話は興味深かった。
- ・リニアが地上を走る予定地を、苗木城の天守展望台から見ることもできた。
- ・石垣も時代によって積み方が異なっていた。自然の岩を利用した石垣があった。
- ・遠山の金さんと苗木城主の遠山氏がつながっていることを知った。遠山氏は徳川氏のお世話係を務めていたと聞き、大きな藩ではないので大変だと思った。